

12月議会トピック

総合事業が今年度中に

始まることに！

何故、今なの？

Q. 総合事業ってなんですか？

A. 介護予防日常生活支援事業のことで要支援1、2相当の方、新しく新規認定を受けた方、更新を受けた高齢者の方が対象です。介護予防・日常生活支援を受ける事業が、介護保険から外れ、野田市の独自のサービスとなります。

Q. いつから始まるの？

A. 今年の3月から介護保険から移行します。

Q. なぜ、この時期に変わるの？

A. 実はこの事業の移行は平成29年4月までに各自治体が順次移行していくことになっていました。

しかし、今年4月に改定された介護報酬が想定を超えて下がり、その前年度の平成26年度の実績をもとにすると高い上限を確保することができると判断しました。サービスの内容や質を維持（今のと

ころ）して介護保険から移行しようとするものです。

Q. 具体的に何がかわるの？

A. 3月以降に新規に介護認定を受け、要支援と認定された方から新事業の該当となります。現在サービスを利用している方は、更新する月に変更の対象になりますので、送られてくる書類をご確認ください。

Q. ということは、介護保険のサービスと総合事業のサービスを受ける2つのパターンが出てくることになるの？

A. 来年の2月までの一年をかけて移行していくことになります。

Q. ボランティアやNPO法人などの担い手を取り込んでいくと聞いたけれど。

A. 現行のサービスに当たる事業と新たな担い手の役割分担を需要と供給の動向を見ながら並行して進めるということです。



*現在認定を受けていらっしゃる方には更新時にご案内が届くこととなります。わからないことがありましたら介護保険課にお尋ねください。

小室をめぐろxパイ

市民ネットワークは総合事業

について、介護サービスの低下と縮小につながると制度を変えことに反対してきました。しかし、今議会では介護保険特別会計の補正にこの総合事業に関する補正が計上されました。制度には反対ですが、サービスを受けている方にとって、一番負担が少ないと判断し、今回の補正には賛成しました。

これからの移行に伴う改定にも注視していきます。

国の動き

財務省は2020年度までに社会保障制度を改悪しようとしています。介護保険分野では65歳から74歳の利用負担を原則1割から2割（つまり2倍）に引き上げようとしています。税金の使われ方に対して声をあげましょう。

【ゴミ減量につなげたい】

生ごみ処理容器キエーロが助成対象になります

10/1に開かれた廃棄物減量等推進審議会において、家庭用の生ごみ処理機の助成対象が拡大され、以前より提案していたキエーロも対象（通販購入）になりました。

高さ85cm×幅80cm×奥行50cm



ゴミ出しの回数が減ります。

とっても
おしゃれ!!

ゴミの量が格段に減ります。たい肥が増えて困ることがありません。

生ごみの堆肥化にチャレンジしませんか？ キエーロで！